













## 昭和60年度予算にみる 新規事業

### いのちをはぐくむ ふるさとづくりの推進

▷福祉自動車(リフト付)の整備(345万円)車椅子使用者や寝たきり老人などの通院、レクリエーション等に使用し、行動圈の拡大をはかる。車椅子2台乗車可能で定員7人 ▷文字即時電話の新設(427万9千円)耳や言葉の不自由な人が筆談で会話可能、文字や图形を書くのと同時に相手方の表示装置で読むことができる。持ち運びタイプを使用すると公衆電話からも使用可能 ▷障害者デイサービス事業の充実(12万9千円)歯科衛生士による訪問指導や在宅障害者の家庭及びボランティア等に対する介護技術指導等講習会の開催 ▷有都小学校区に都市児童健全育成事業(学童保育)を開設(309万9千円)有智園幼稚園内に設置 ▷外国人に対する修学援助費支給制度の創設(827万4千円)日本国籍を有しない被保護者で、京都朝鮮学園、京都韓国学園等に在学する中小学生に修学援助金を支給 ▷妊娠保健指導の充実(270万円)妊娠無料保健指導検査(低所得層対象)を2回実施 ▷公衆浴場への助成(43万2千円)海づくり経費の3分の1を助成。対象は市内民間3浴場 ▷環境衛生施設整備(1195万円)中ノ山墓地の斎場改築ほか、ごみ減量対策の充実(21万円)ひん類の地区別収集によるごみ減量活動に助成 ▷常備消防器材の充実(40万2千円)団地火災等に対応柔軟ピストルノズル(特殊筒筒)等を設備、車載電源箱用装備の整備、携帯用ガス検知器の設備 ▷消防用地域器材等の充実(102.5万円)第1分団第1部の消防ポンプ自動車の更新、第4分団第2部の小型動力ポンプの更新、赤パイク1台の更新 ▷交通安全施設の整備(136万円)反射式道路紙(ポイントロック)を市所内40カ所に設置、府道京都守口線・市道奥ノ町線交差点に導流島を設置 ▷八幡市駅前自転車放置対策の強化(119万1千円)指導員2人を早朝3時間配達

### ともにまなびあう ふるさとづくりの推進

▷幼稚園の改修整備(320万円)八幡小附属幼稚園の屋根改修 ▷八幡第二小附属幼稚園の廊下改修 ▷小学校の改修整備(1270万円)八幡第四小学校の新球ネット・フェンス改修、模擬小学校の防球ネット・ブール塗装・体育館屋根塗装 ▷八幡第四小学校用取扱機(13億700万円・債務負担)各校面積16000m<sup>2</sup>、計画規模=校舎4621m<sup>2</sup>、普通教室21室、特別教室7室、体育館921m<sup>2</sup>、給食室150m<sup>2</sup>、プール400m<sup>2</sup> ▷東部中学校建設設計(3000万円・債務負担)計画規模=校舎5136m<sup>2</sup>、普通教室19室、特別教室13室ほか、屋内運動場980m<sup>2</sup>、柔道場350m<sup>2</sup> ▷中学生徒走路指導専用コンピューターの導入(140万円)各中学校1台、指導用記録を入力 ▷コンピューター操作指導研修用コンピューターの導入(70万2千円)男山中学校の設置、3中学校教師が対象 ▷学校教育教材資料投影装置の整備(1330万円)オーバーヘッドプロジェクター48台、同準備用ワゴン8台、投影用スクリーンを全教室(233セット)に設置 ▷小学校音楽鑑賞会の実施(53万円)小学校5・6年生を対象の文化センターで開催 ▷自然教室事業の実施(126万円)男山第2中学校1年生480人を対象に、入学時のコミュニケーションを深めるため海浜で3泊4日の研修を実施 ▷コミュニケーション施設整備の促進(43万円)男山第三住宅管理組合会所の増築 ▷文化財保存活動の推進(52万6千円)資料館で八幡の古文書を開拓 ▷やわた文庫の建立(25万円)松花堂園内に吉井勇歌碑、さくら近隣公園内に伊藤千尋碑を建立 ▷青年婦人対策の充実(185万6千円)国際交流青年のつどい・世紀を拓く婦人のつどいの開催、婦人行動計画策定、渋谷合唱団の結成 ▷市民体育馆整備に着手(1億3440万円)実施設計のうえ、年度内に着工、62年6月完成予定 ▷スポーツ少年団の組織化(274万6千円)各部門にわたるスポーツ少年団の組織化をはかる ▷用品の情報提供(一)広報紙に毎月、不用品情報を登載

### みのりゆたかな ふるさとづくりの推進

▷特産地形成の促進(137万6千円)茶撰容器の設置助成 ▷中堅農地育成対策の拡充(2379万円)内里地区、計画面積18.525m<sup>2</sup>、受益戸数12戸(2年計画)、共同育苗ハウス3棟、パイオニアハウス18棟(果菜類、トマト、キュウリ)、パイオニアハウス6棟(チーリック) ▷工事地域開発の促進(37万円)地区内の道路3.3mの整備 ▷福祉産業会館の建設(2億9300万円)旧山城八幡郵便局の用地を取得、既設建物を除去し、鉄筋コンクリート造り2階建てを新築。社会福祉協議会、シルバー人材センター、ボランティアバンク、商工会の各事務所に共用 ▷観光の振興(403万円)松花堂公園に庭園内と市内案内を合わせた案内板を設置するほか、4月中旬既定予定の八幡市観光協会の結成と助成

### みどりのそだつ ふるさとづくりの推進

▷二階堂3号線の改良(1億100万円)延長113.6m、幅員4m、用地取得、物除却、築造 ▷良好な住宅用地の供給(9億1300万円)城南土地開発公社から宅地12,400m<sup>2</sup>を引取り、宅地を必要とする市民に分譲、1区画平均151m<sup>2</sup>、82区画 ▷水洗化の促進(100万円)水洗化のための宣伝啓もう用リーフレット作成

### のぞみあふれる ふるさとづくりの推進

▷国際交流の推進(50万円)国際交流に向けての準備・調査 ▷広報やわたの充実(170万円)広報紙編刷版の発行(創刊号から昭和60年1月号まで)

# 一般会計185億6423万2千円

全会計総額 254億9828万8千円

## 土木費

69億7354万円(37.6%)

## 歳出

## 民生費

35億8215万円(19.3%)

## 総務費

26億969万2千円

昭和60年度予算  
を見る

## 教育費

13億428万4千円

## 公債費

20億7099万6千円

(11.1%)

## 衛生費

11億5067万円(6.2%)

## 農林水産業費

1億6156万5千円(0.9%)

## 消防費

3億6232万3千円(2.0%)

## 議会費

1億160万円(0.5%)

## 扶助費

3451万4千円(0.2%)

## 助成費

3100万円(0.2%)

## 事業費

3451万4千円(0.2%)

## 其他の事業費

3451万4千円(0.2%)

## 新規事業費

3451万4千円(0.2%)

## その他事業費

3451万4千円(0.2%)

## 新規事業費

# 職員の給与状況をお知らせします

表1 人事費の状況(昭和58年度普通会計決算)(昭和59年3月末現在)

住民基本台帳人口	歳出額	実質収支	人件費	人件費率
70,254人	16,610,884千円	116,620千円	3,585,562千円	21.6%

表2 職員給与費の状況(昭和59年度普通会計当初予算)

職員数	給与費			1人当たり給与費(税込み)
	給料	職員手当	期末・勤務手当	
670人	1,600,259	385,604	729,939	2,715,802
				4,053

表3 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢(昭和59年4月現在)

区分	一般行政職		技能労務職			
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
八幡市	194,900円	255,550円	32.11歳	211,500円	254,160円	42.01歳
国	213,340円	—	40.1歳	193,150円	—	48.5歳

表4 職員の初任給の状況(昭和59年4月現在)

区分	八幡市		国	
	初任給	採用2年経過日給料額	初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	127,600円	140,200円	104,000円	114,900円
高級卒	104,000円	114,900円	87,700円	93,400円
技能労務職	127,600円	140,200円	—	—
高校卒	104,000円	114,900円	85,800円	91,300円

表5 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(昭和59年4月現在)

区分	経験年数10年		経験年数15年		絏験年数20年	
	大学卒	高校卒	大学卒	高校卒	大学卒	高校卒
一般行政職	194,700円	219,800円	278,100円	207,000円	258,700円	—
技能労務職	—	—	—	—	—	—

表6 一般行政職の等級別職員数の状況(昭和59年4月現在)

区分	1等級			2等級			計			
	標準的な職務内容	部長・課長及びこれに相当する職	課長補佐・主事及びその他の職	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数
参	1年前の構成比	15%	—	363人	—	427人	—	—	—	—
考	5年前の構成比	15%	—	85%	—	100%	—	—	—	—
	5年前の構成比	12%	—	88%	—	100%	—	—	—	—

表7 給与期間短縮の状況

区分	区 分		八幡市		国	
	昭和	年	職員数	定数	普通昇給期間(12月)	短縮して昇給した職員数
58	年	比	732人	定数15%以内で勤務成績が特に優秀であるなどの条件に該当した場合は特別に昇給できる。	30人	4.1%

表8-1 職員手当の状況(昭和59年9月現在)

区分	八幡市		国	
	期末・勤務手当	3月期・5月分・計4.9月分	期末・勤務手当	3月期・5月分・計4.9月分
支給率	自己都合	勤奨	支給率	自己都合
勤続20年	(21,672)月分	(29,789)月分	勤続20年	21.0月分
勤続25年	24,494	33,678	勤続25年	28,375
勤続35年	(49,655)	55,170	勤続35年	48,125
最高限度額	56,133	68,112	最高限度額	60.0
加算措置等	長期勤続者は、1号給または3号給を加算できる	加算措置等	長期勤続者は、特別の勤奨勤続者は1号俸または2号俸の特別昇給ができる	63.525
1人当たり	自己都合	勤奨	1人当たり	自己都合
平均支給額	4,606千円	11,719千円	平均支給額	9%
支給率	—	—	支給対象職員数	728人
調整手当	(昭和59年4月現在)	支給対象職員数	職員1人当たり平均支給年額(58年度決算)	206,517円

表8-2 特別勤務手当の状況(昭和58年度)

区分	区 分		全 職 種	
	職員全体に占める手当支給員の割合	支給率	自己都合	勤奨
特殊勤務手当	61.6%	—	—	—
手当の種類	—	—	28,741円	—
代表的な手当を支給する職員	—	—	12種類	—
時間外勤務手当	—	—	支給総額	138,484,684円

表8-3 特別勤務の報酬等の状況(昭和60年2月現在)

区分	三 役		議 員	
	市長	助役	議長	副議長
給料報酬	600,000円	500,000円	300,000円	270,000円
収入役	480,000円	—	250,000円	—
期末手当割合	6月1.9月分、12月2.5月分	3月0.5月分、計4.9月分	6月1.9月分、12月2.5月分	3月0.5月分、計4.9月分

昭和60年2月の物価調査結果(△は値下り品)

品目	規 格	容 量	高 値	安 値	平 均 値	前月比	市 平 値
即席ラーメン	100g袋入り	—	72	69	71	4	61
マヨネーズ	300gボリ容器入り	—	218	210	216	1	209
ケチャップ	300gボリ容器入り	—	225	195	215	1	212
サラダ油	1650gビン入り	—	868	670	772	7	768
白砂糖	1kg袋入り	—	2				

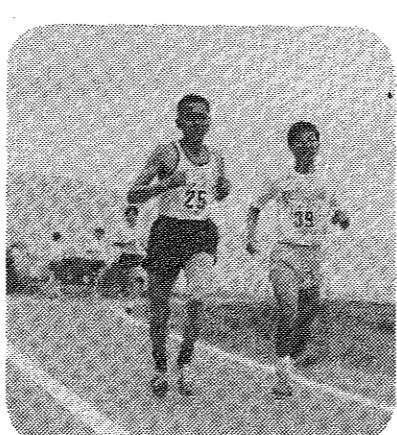


## すいきみこしに伝える野菜献上の里

古代の上奈良は下奈良とともに久次代を経て瓜・茄子（ナス）・蘿蔔（ラファタ）などとあり、朝廷に献上する野菜を栽培する記録が残っている。今日、野菜の献上は絶えたが、この御園の青物祭に残っている。毎年この両日、サトイモの茎でみこしの屋根根にとれた三十種もの野菜を色とりどりずいきみこし”が奉納される。戦後それが近年子供用のみこしが復活した。いのハッピを着た子供たちの歓声が壇



## 初のロードレース大会



第一回ハンドーラース大会が2月10日、市体育振興会と市教育委員会の主催で、市役所をスタート・ゴールとする、10キロの西コースで行われました。12歳の中学校1年生から55歳まで、市内と城陽市、守口市、京都市などから合わせて、1025人が参加し、7つの部門で健脚を競いました。

午前9時から受付が開始され、9時30分から市役所前広場で開会式が行われ、大金会長の赤川行男、市体育振興会長から「初めての大金会に、市内外から多くの選手が参加されました。京都国体に向けて、自団の記録を更新するよう、日々の練習の成果を十分に發揮してください」とあいさつ。このあと参加者たちが、入念にウォーミングアップをして、午前11時ちょうどに一斉スタート。

参考着賞が完走し、開会式で各部門の3位までに表彰状と盾が贈られました。各部門の上位3人の氏名と記録は

火災・救急統計		
60／1		59／1
救急件数	117件	102件
搬送人員	121人	112人
火災件数	2件	4件

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)



## 20歳の発言②

を通じて、完全にまではいかないものもある程度、教育のものが見直されてきたからでは、じょうぶだ。

「最近の子どもは忍耐力がなく、個性、創造性が欠如している」とか「個性、創造性を發揮するのを耳にします。物事には必ず書寫してあるいろいろ因果関係を在しますが、それでは、それをあらためた原因がどこにあるか、私は次のように考えます。一つには、欲しい物が常に神がやるところであるといふのがあらわれるのではないか。すなれば、高度経済成長により経済的に余裕ができるといふこと、いわゆる社会がした問題なのである。今までの教育のあの方、物となるよう強いていく決意本に問題があつたせいだと思われます。例えは、偏差値といった学力だけを評価する指標が、個人がそれを持っている個性、創造性を圧迫していくように私は思ふのです。ある程度学問も必要ですが、学問だけでも、他の方面において自分の能力、個性を発揮できる人もおられるように思われるのです。したがって、教育のあり方そのようなことを考慮した上で、行なっていかなければなりません。」

最後に、21世紀を背負う私たちであります。物事をよき学び、そして何事も冷静に見極め判断する心をもつけて、21世紀が私たちを期待し、必要な人材となるよう頑張っていく決意です。

## 20歳の癡言②



ふ め て と う こ さ い ま す

竹園香臣	戸高陽平	竹園香臣	戸高陽平
竹園香臣	大場香織	竹園香臣	大場香織
石城弓蘭	松尾佑利	石城弓蘭	松尾佑利
一 区 藤井優子	吉井松里	一 区 正信	正利
吉井松里	上田新悟	裕司	真一
吉井松里	石綿慶子	裕司	達也
六 区 戸川千恵	博幸	裕司	真
下 区 奥野博弥	親典	裕司	利
一 区 橋須賀有紀	裕司	裕司	仁
竹園香臣	芳夫	裕司	信
櫻木祐介	喜代重	裕司	仁
石城弓蘭	石綿慶子	裕司	四
石城弓蘭	岩下志織	裕司	区
五 区 金田由香里	利夫	裕司	岩永由紀美
五 区 七津角梨沙	隆三	裕司	勝己
竹園香臣	泰永	裕司	裕司
石城弓蘭	泰永	裕司	裕司
湯波真吾	龍男	裕司	裕司
悦郎	眞次郎	裕司	裕司

昭和60年1月届出分		男山地区 片岡 雅孝		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ	
男山地区 片岡 雅孝		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ		忠明 滋史	
男山地区 片岡 雅孝		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ		忠明 滋史	
金振区 日野岡 舞		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ		忠明 滋史	
金振区 日野岡 舞		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ		忠明 滋史	
石城山崎 平田 裕子		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ		忠明 滋史	
石城山崎 平田 裕子		石城山崎 譲也		竹園香里 今道りえ		忠明 滋史	
三 区 下野 由莉		三 区 井上 皓介		三 区 井上 皓介		三 区 井上 皓介	
四 区 大槻光太郎		四 区 中谷 美穂		四 区 中谷 美穂		四 区 中谷 美穂	
四 区 大槻光太郎		四 区 中谷 美穂		四 区 中谷 美穂		四 区 中谷 美穂	
竹園香里 富永 善		五 区 武光 明美		五 区 武光 明美		五 区 武光 明美	
竹園香里 富永 善		五 区 武光 明美		五 区 武光 明美		五 区 武光 明美	
四 区 原 直子		六 区 山田恭士郎		六 区 山田恭士郎		六 区 山田恭士郎	
四 区 原 直子		六 区 山田恭士郎		六 区 山田恭士郎		六 区 山田恭士郎	
六 区 福田 真誠		七 区 深澤 博俊		七 区 深澤 博俊		七 区 深澤 博俊	
六 区 福田 真誠		七 区 深澤 博俊		七 区 深澤 博俊		七 区 深澤 博俊	
六 区 福田 真誠		八 区 俊博 勉		八 区 俊博 勉		八 区 俊博 勉	
六 区 福田 真誠		八 区 俊博 勉		八 区 俊博 勉		八 区 俊博 勉	
六 区 福田 真誠		九 区 泰弘 義美		九 区 泰弘 義美		九 区 泰弘 義美	
六 区 福田 真誠		九 区 泰弘 義美		九 区 泰弘 義美		九 区 泰弘 義美	
六 区 福田 真誠		十 区 安野 智季		十 区 安野 智季		十 区 安野 智季	
六 区 福田 真誠		十 区 安野 智季		十 区 安野 智季		十 区 安野 智季	
一 区 三室康志郎		十一 区 喬久夫		十一 区 喬久夫		十一 区 喬久夫	
一 区 三室康志郎		十一 区 喬久夫		十一 区 喬久夫		十一 区 喬久夫	
内里区 安野 智季		十二 区 泰美		十二 区 泰美		十二 区 泰美	
内里区 安野 智季		十二 区 泰美		十二 区 泰美		十二 区 泰美	
砂子 泰慶		十三 区 正人 充		十三 区 正人 充		十三 区 正人 充	
砂子 泰慶		十三 区 正人 充		十三 区 正人 充		十三 区 正人 充	

吉井松里	林 秀光	正善	男山地区	森 俊樹	茂樹
石城弓鷹	篠田 明弘	蕃	戸津区	吉川 明伸	昌弘

